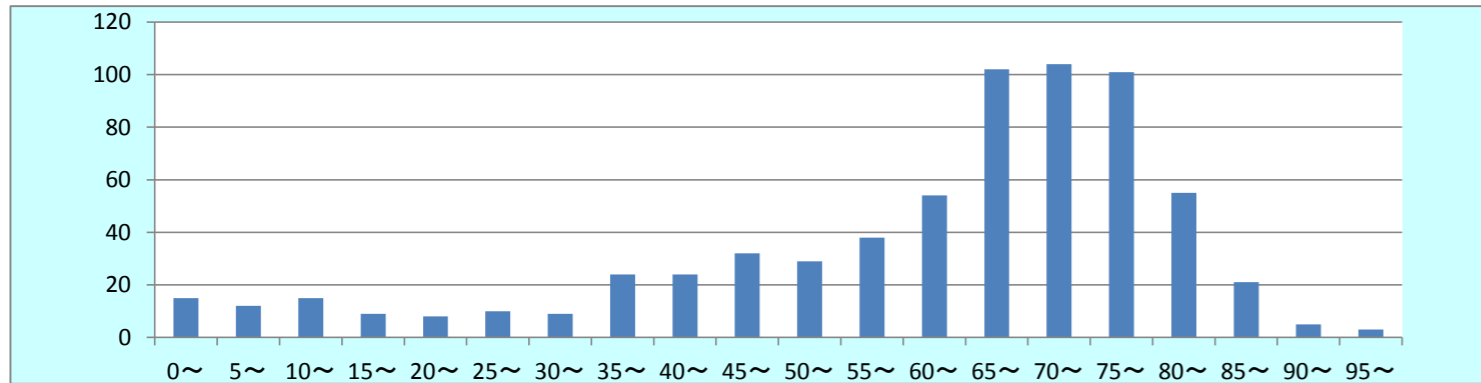


美奈宜の杜の住人の年齢構成

街の将来の高齢化を見て考えてください。

私達の街は、朝倉市内でも2番目の高齢化地域です。高齢化率は、全国平均26.6%に対して、この街は58.5%、お隣の高木地区は60.3%です。(65歳以上を高齢者としています。)

美奈宜の杜の年齢別人口構成グラフ (横軸:5歳ごとの年齢、縦軸:人数、朝倉市住民基本台帳による)



美奈宜の杜の将来の高齢者の人数 (現在の人口からの推移)

65才以上を高齢者、75才以上を後期高齢者として分けました。

高齢者の割合

全国平均 26.6%

福岡県平均 25.9%

朝倉市平均 33.2%

	現在 (2018年)	2年後 (2020年)	5年後 (2023年)	10年後 (2028年)
65才以上の人数	392	414	455	485
75才以上の人数	185	223	299	393
高齢化率%	58.5	61.8	67.9	72.4

10年後には4人に3人が高齢者です。今でも全国平均の倍以上の高齢化率です。グラフの65~75才の間の人数が突出していますが、そのピークは10年後には、そっくり右側に移動しています。もともと、高齢者が集まってできた地域ですから、こうなることは当然とはいえ、10年後に私たちの暮らしや、健康状態はどうなっているか、予想が付きません。

その中にご自身が存在していると考えてください。街の将来、自分の暮らしを、住民がともに考える必要がある大きな理由です。(福元記)

お詫び:7月の住民懇談会の際に、区会からの報告として10年後の高齢者が500人を超えると報告しましたが、参加された方から、間違いをご指摘頂きました。改めて正しい数値を報告いたしますので、ご了承ください。

★一斉ノーポイ運動の報告とお礼 213名のご参加ありがとうございます

7月28日(土)に実施の一斉ノーポイ運動には、猛暑にもかかわらず、213名の方に参加いただきました。無事終了できました。お礼を申し上げます。

なお、市から地域住民に要請される環境美化活動の一斉清掃やノーポイ運動は、ご参加を義務付けていません。無理が出来ない方や体調不良の方は、ご遠慮なく欠席してください。今後もこの方針を変えず、無理のない作業を呼び掛けてまいります。(区会役員会)

★『杜の風』からのお知らせ 9月からお休みします。

2014年(平成26年)9月に、コーヒーコーナーにて「談話コーナー『杜の風』」を開設して丸4年。何もないゼロからのスタートで、当初は来客なしの日もあったのですが、サークル帰りの方、会議の後に立ち寄りたりと、温かく応援してくださいました。今では子ども達、散歩途中の立ち寄りや、様々な形で利用されていますが、この度、8月31日(金)をもって、しばらくお休みすることにしました。

今まで応援して頂いた方々に感謝の一言です。

ありがとうございました。 杜の風スタッフ一同(高野、澁谷、大倉、大橋)

区会から:スタッフの皆さんお疲れ様でした。4年の間に携われた多くのスタッフの皆様、また応援していただいた来場の方々や、場所や設備など提供いただいた西ビル、スタート時から一緒に取り組みの相談に乗っていただいた社協やコミ協と、この街の住民が全員でつないだ『杜の風』でした。しばらくお休みして頂き、また新たな『杜の風』が吹くことを期待します。



★80才おめでとうございます 長寿祝金を贈呈します

9月17日の敬老の日の行事として、今年9月30日までに、満80才を迎えられる定住住民の方に、区会から長寿祝金を贈呈します。近日中に会長と地区副会長で、対象者のお宅を訪問します。万一漏れ(住民世帯の同居のご家族も対象です)や、間違いがありましたら地区の区会役員にご連絡してください。

- 水口様、熊本様、山口様、中田様、轟様
- 原之園様、徳永様、山下様、植田様、鶴田様
- 宮野様、天野様、福田様、鍛冶山様



★区会組織の見直し経過報告 新しい区会を目指して協議を重ねています

新年度の区会のテーマとして、区会の改革に取り組んでいると地区懇談会でお伝えしました。その後の取組の状況をお知らせします。

改革の基本は、「誰でも参加できる組織にする」、「行政(朝倉市)が目指す地域の組織を作る」、「現在の住民3組織の活動の整理」、「まちの現状に対応する組織にする」です。

これから、地域の住民を代表する組織の「美奈宜の杜コミュニティ協議会」や、事業会社「西ビル」との調整をしながら進めます。

現在検討している課題の主なものは、「区会の3分割(街区ごとの区会にします)」、「コミ協傘下の組織にする(区会をコミ協の組織に組み込みます)」、「区会長選挙を止める」です。(福元記)

☆新入居者のお知らせ 今月は、誕生された住民のご紹介です。

○ 田中さん 5月 お誕生



—編集後記— 共に老いに向き合う

2年前に久留米大学の濱崎先生にお願いして、美奈宜の杜の全住民を対象として行われた住民意識に関するアンケート調査結果を覚えておられますか。この街での永住意識では、73%の方が住み続ける又はそのつもりと答えられています。その後、常設の病院が実現しましたが、一番心配と答えられた交通手段については、まだまだ十分な解決策の実現が見い出されません。これから、私たちは更に高齢化して、あの時は大丈夫と思ったことが、出来なくなることがたくさん出てくるでしょう。今では、皆さんの永住意識はどうなっているか、ご自身に問うてみてください。管理会社や行政に高齢者が住みやすい環境作りを要望していくとともに、この街に住む皆さんが連帯意識を高めて、住民自身で必要な環境を作ることも大切です。お互いが高齢者であり、共に暮らし、またこの地を永住の地と思う方が多くおられます。

老いに向き合うなら、一人より、この街で仲間同士で繋がり、考え、行動する方が、知恵や経験がより多く出てくるでしょう。住民組織、サークル活動、何でも参加して話し合えば、健康に長生きできる秘策が出てくるかもしれません。(福元記)